

調布市教育委員会様

学校名 調布市立染地小学校

校長氏名 石村 繁樹 印

平成31年度教育課程について（届）

このことについて、調布市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、基礎的・基本的な知識及び技能と課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付け、持続可能な社会の創り手となる、児童の育成を期して、次の目標を設定する。

㊦たたく (徳) 多様な価値観を認め、寛容に関わろうとする子ども

㊧くましく (体) 自己肯定感を高め、ねばり強く関わろうとする子ども

○㊨えむきに (知) 見通しをもち、主体的に関わろうとする子ども・重点目標

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

①多様な価値観を認め寛容に関わろうとする子どもを育成するために

○お互いの違いを認め合い、自分自身を大切に取る取組の推進

・染地小スタンダードに基づき、全教育活動において、教職員が同じ視点で指導にあたる。

・児童一人一人が活躍する場所をつくり、様々な交流を通して他者を理解する心を育てる。

・人権教育ニュース、ふれあい月間、あいさつ運動等を活用し、児童の挨拶に対する達成感90%を維持する。

○児童一人一人の個性を尊重した特別支援教育の推進と教育実践の充実

・支援教育推進部を構築し、配慮を要する児童へ特別支援教育コーディネーターを中心として、組織的な指導を行う。

・願いが反映された個別の教育支援計画と個別指導計画を通して、学校への適応感80%を目指す。

②自己肯定感を高め、ねばり強く関わろうとする子どもを育成するために

○体育の楽しさを味わい体力向上を図るための取組の推進

・食に関する指導の全体計画・年間計画に基づいた学習指導や給食指導や委員会活動の取組を通して、健康教育、食に関する教育を充実させる。

・オリンピック・パラリンピック教育の充実、ロング昼休み、放課後遊びなどにより体育の日常化を行い、オリンピックへの期待感を50%以上に高める。

○児童一人一人を全教職員と保護者・地域で見守り、はぐくむ学校づくりの推進

・校務分掌の刷新と行事の精選を行い、教員が子どもと向き合える時間を確保していく。

・運動会や音楽会等の学校行事や芝生遊び等、年間を通して地域の園児・児童との交流を深める。

・開放委員会、健全委員会の行事運営に積極的に協力し、地域との連携を進める。行事毎の保護者アンケートや学校関係者評価を活用し、児童と地域との関係について肯定的な評価85%を目指す。

③見通しをもち、主体的に関わろうとする子ども

○確かな学力を育成するための教員の授業力向上と児童の知識・技能を教科横断的に生かす取組を推進する。

・染地小学校・授業のグランドデザインに基づいた、主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して、教職員一体となった研究・研修を推進する。

・授業改善推進プランの作成と学校評価を柱としたPDCAサイクルの授業改善を行い、学習に対する肯定的な評価85%を実現する。

○安全で安心な学校環境づくりの推進

・安全管理マニュアルに基づき地域・保護者と連携体制を整え、児童が安心して学校に通える環境を創出する。

・すべての教科領域を通して、自分の命の大切さを考えさせ、「自分の命は自分で守る」という意識を高め、学校評価では保護者・児童共に90%以上の肯定的評価を目指す。